

わだいな



▲ボールに追いつがる児童



▲“竹馬サッカー”のようす

ロアッソ熊本サッカー教室 本渡

ロアッソ熊本がやってきた！！

7月27日、佐伊津小学校で「サッカー」2・ロアッソ熊本サッカー教室が開かれ、同校の児童102人が参加しました。これは、ロアッソ熊本のスポンサー企業が開催したもの。教室では、同チームアカデミーセンターのコーチ5人が、ドリブルやシュートなどの指導を行ったほか、ミニゲームを実施。子どもたちは、夏の日ざしを浴びながら、熱心にボールを追いかけていました。その後、子どもとコーチらは、竹馬に乗りながらサッカーをする“竹馬サッカー”で対戦。コーチらは、ふだんとは勝手が違うサッカーに悪戦苦闘する一方、子どもたちは器用に竹馬を乗りこなしながら次々とゴールを決め、会場を沸かせていました。

すもと夏祭り 栖本

帰省客などで大にぎわい！

8月13日、「すもと夏祭り」が栖本福祉会館駐車場に設けられた特設会場で開かれ、家族連れやお盆の帰省客などでにぎわいました。祭りでは、大道芸ショーやダンスの披露、ストラックアウトなどのゲームのほか、ラムネ・ピールの早飲み競争を実施。また、中学生以下を対象にしたエビのつかみ取りには多くの子どもが参加し、生きのいい車エビを必死になって捕まえていました。このほか、祭りを締めくくる花火が打ち上げられ、訪れた約600人の観客を魅了しました。



▲エビのつかみ取りをする子どもたち



▲消火栓を使い放水を行う子どもたち

浦地区防災訓練 倉岳

いざというときに備えて

7月25日、浦公民館で「浦地区防災訓練」が行われ、地区住民約200人が参加しました。これは同地区振興会が、災害時に備えて各自主防災組織や消防団、災害時要援護者などとの連携を図ることを目的に、初めて開催したもの。訓練では、消火栓の取り扱いや消火器を使った初期消火のほか、AEDの操作、炊き出し訓練などを実施。消火栓訓練に参加した倉岳小学校2年の端迫駿汰君は、「水が出たときは重かったけど、とても楽しかった」と話していました。

一町田虫追い祭りイベント 河浦

空にたなびく五色の旗

7月18日、一町田小学校のグラウンドで「一町田虫追い祭りイベント」が行われました。これは、一町田地区振興会が、毎年7月の第3日曜日に開かれている伝統行事“虫追い祭り”にあわせて開催しているもの。催しでは、赤・紫・黄・白・水色の旗をつけた高さ15メートルの旗さおを、どれだけ長く持ち上げることができるかを競う競技や、肩や頭にのせる演技などを実施。また、今回は新たにポニーの乗馬体験や旗さおを持って20メートルを歩く競技も行われ、会場は大いに盛り上がりました。



▶青空にはためく虫追い旗



▲虫追い旗をイメージした飾りをつけたポニーに乗る子ども



▲平和の祈りコンサートのようす

御領平和祈念祭 五和

地域で平和の尊さを考える

8月9日、「御領平和祈念祭」が御領地区招魂場で開かれ、地区住民など約100人が参加しました。これは、地域で平和の尊さを考える機会を作ろうと、長崎に原爆が投下された日にあわせて御領まちづくり振興会が実施しているもので、今年で3回目。催しでは、会場が手作りの竹灯ろう約150本で彩られる中、御領小学校の児童による作文の朗読のほか、地元合唱団などが平和の祈りコンサートを実施。また、平和に関する習字の作品や短歌・俳句も展示され、参加者は平和の尊さを再認識していました。

日本海洋少年団南九州地区大会 牛深

りっぱな海の子を目ざして！

7月30日から8月1日まで、「第20回日本海洋少年団南九州地区大会」が牛深町の茂串地区で開かれ、同団に所属する子どもなど38人が参加しました。この大会は、海への関心を高めるとともに、少年少女の育成を図ることなどを目的に開催したもの。天草海上保安署の巡視艇あそぎりで体験航海のほか、手旗競技や結索（ロープ）競技を実施。また、水泳競技では、ほとんど泳げなかった団員が、最後には25メートルを泳げるようになるなど、ひとまわり成長した子どもたちの姿が見られました。



▲結索競技に真剣に取り組む団員